

平成28（2016）年産水稻の作柄について

<目次>

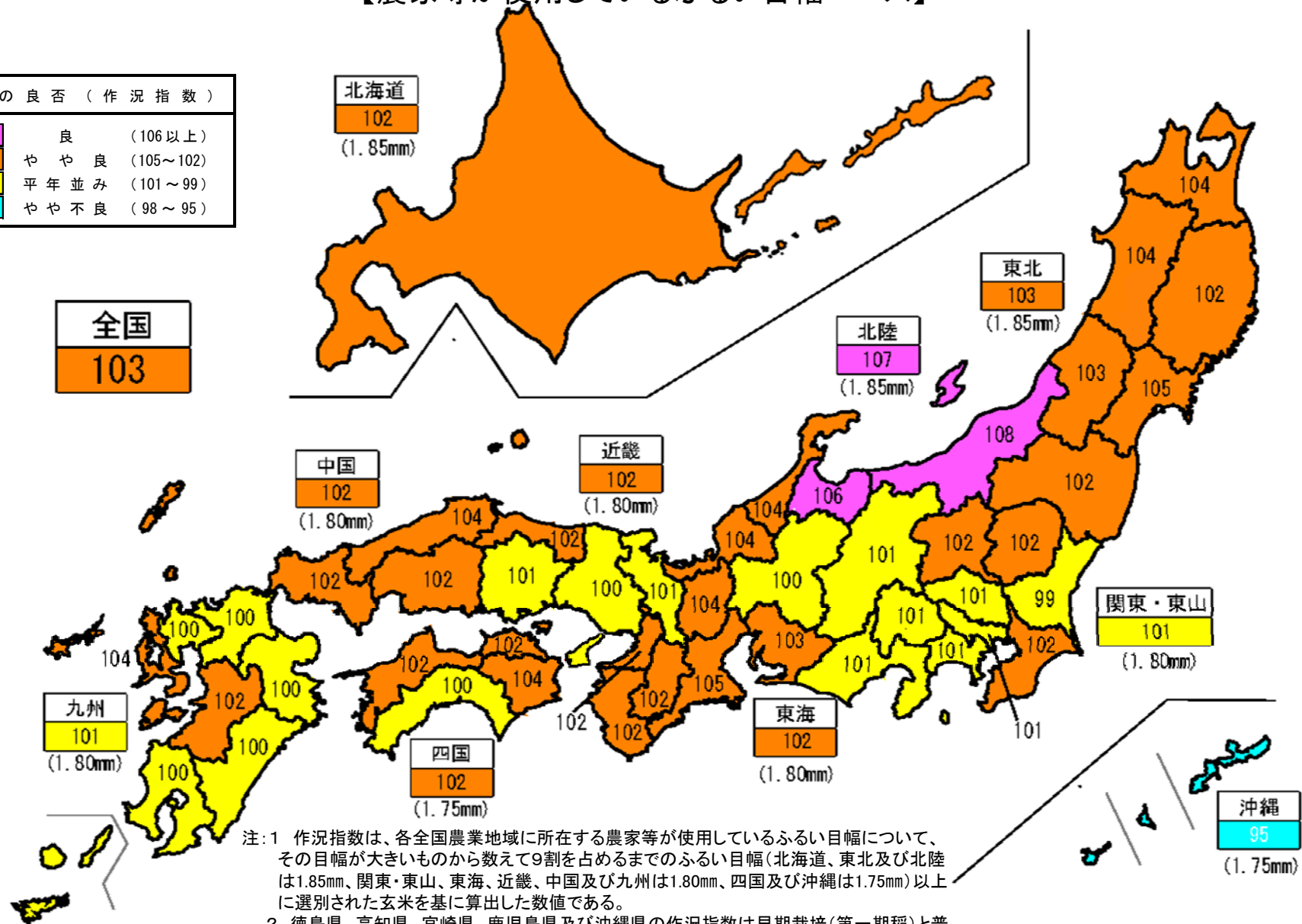
平成28年産水稻の作況指数	1
平成28年産全国農業地域別作柄の特徴	2
水稻の作柄に関する委員会の意見に対する作柄の概要	3

平成28年産水稻の作況指数

全国農業地域・都道府県別作況指数

【農家等が使用しているふるい目幅ベース】

作柄の良否（作況指数）		
	良	(106以上)
	やや良	(105～102)
	平年並み	(101～99)
	やや不良	(98～95)



平成28年産全国農業地域別作柄の特徴

【北海道：作況指数102、東北：103、北陸：107、関東・東山：101】

○田植期以降おおむね天候に恵まれたことから生育は順調に推移し、全もみ数はおおむね「平年並み」ないし「多い」となった。

○登熟は、全もみ数が多いことによる相反作用の影響等が一部でみられたものの、出穂期以降の天候がおおむね順調に推移したことから、「平年並み」ないし「やや良」となった。

【東海：102、近畿：102、中国：102、四国：102、九州：101、沖縄：95】

○6月が日照不足傾向であったものの、8月中旬まではおおむね天候に恵まれたため、全もみ数は一部を除き「平年並み」ないし「多い」となった。

○登熟は、8月下旬以降の日照不足を受けた九州等の一部で「やや不良」となった県があったものの、その他の地域ではおおむね順調に推移し「平年並み」ないし「やや良」となった。

○沖縄県については、第一期稲における2月～3月の低温による影響や、第二期稲における出穂期の台風の影響があった。

水稻の作柄に関する委員会の意見に対する作柄の概要

「水稻の作柄に関する委員会（平成28年度第2回）の意見」（平成28年9月2日）の抜粋

2 次回の調査に当たって留意すべき事項

- (1) 早場地帯においては、出穂後の高温及び8月中旬以降の寡照が登熟や品質に及ぼす影響に留意する必要がある。
- (2) 西日本の遅場地帯においては、5月末から6月にかけて寡照傾向となった一方で、8月以降、気温及び日照時間が平年を大きく上回って推移しており、今後も高温で推移することが見込まれることから、もみ数、登熟等への影響を見極める必要がある。
- (3) 8月中旬以降の台風第7号、第9号、第10号及び第11号の影響により倒伏等が発生した地域では、その影響を見極める必要があるとともに、今後の台風や集中豪雨等による作柄への影響にも留意する必要がある。
- (4) いもち病、斑点米カメムシ類等の病虫害の発生が多いと予想される地域においては、その発生状況に留意する必要がある。

1 早場地帯での8月中旬以降の寡照による登熟や品質への影響

	1㎡当たり 全もみ数		千もみ当たり 収 量		作況 指数	1等米比率(%)			日照時間（平年対比：％）及び 平均気温（平年差：℃）							
	(百粒)	平年比	(g)	平年比		28年産 1月末現在	27年産 確定		6月	7月	8月			9月		
									月間	月間	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
北海道 (札幌)	339	99	16.8	102	102	89.9	92.4	日照時間	84	128	154	104	138	75	94	120
								平均気温	▲ 0.4	0.2	1.7	1.6	1.6	1.9	▲ 0.2	2.0
宮城 (仙台)	298	104	19	101	105	90.1	84.4	日照時間	114	109	146	157	73	137	26	60
								平均気温	1.3	0.8	2.4	1.0	1.0	2.6	▲ 0.2	1.9

	1㎡当たり 全もみ数		千もみ当たり 収 量		作況 指数	1等米比率(%)		日照時間（平年対比：％）及び 平均気温（平年差：℃）								
	(百粒)	平年比	(g)	平年比		28年産 1月末現在	27年産 確定		6月	7月	8月			9月		
									月間	月間	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
山形 (山形)	319	102	19.5	101	103	95.2	94.9	日照時間	108	106	124	137	85	136	36	56
								平均気温	0.9	0.2	0.9	0.6	0.9	2.3	0.3	2.2
茨城 (水戸)	303	101	17.6	99	99	91.6	84.5	日照時間	120	119	133	96	96	144	34	74
								平均気温	1.7	0.7	2.1	0.5	0.6	1.7	0.6	2.3
新潟 (新潟)	305	103	19.5	104	108	83.8	79.9	日照時間	115	95	136	129	121	130	40	61
								平均気温	0.7	0.1	0.4	0.4	0.5	1.9	0.0	1.0
富山 (富山)	296	106	19.6	99	106	90.6	90.9	日照時間	113	117	131	114	89	132	39	62
								平均気温	1.3	1.1	0.5	0.6	0.4	1.5	0.1	1.3
滋賀 (彦根)	306	102	17.8	102	104	75.6	74.0	日照時間	105	123	162	131	95	110	36	52
								平均気温	0.6	0.7	1.3	1.1	0.4	1.2	0.9	1.8
島根 (松江)	275	100	19.6	104	104	68.5	65.3	日照時間	91	106	122	147	86	79	31	66
								平均気温	1.0	1.3	0.8	1.0	▲ 0.3	0.9	▲ 0.1	1.5

注：1 県名の下段の（ ）書きはアメダス地点名である。

2 作況指数については、農家等が使用しているふり目幅ベースである。

3 1等米比率は、政策統括官付穀物課「米の農産物検査結果」における水稻うるち米の結果である。

- ① 早場地帯の地域においては、田植期以降はおおむね天候に恵まれたことから生育は順調に推移し、全もみ数は「平年並み」ないし「多い」となった。
- ② 出穂期以降は、8月中旬までは高温・多照で推移し、登熟後期に当たる9月中旬以降の日照時間が平年を下回ったものの、気温はおおむね平年を上回って推移し、適度な降雨等もあったことで、登熟期間が長く確保された。
- ③ このような気象及びもみ数の状況において、千もみ当たり収量をみると、多くの地域で「平年並み」ないし「やや多い」となった。

2 遅場地帯での8月以降の高温によるもみ数や登熟への影響

	1㎡当たり 全もみ数		千もみ当たり 収量		作況 指数	1等米比率(%)		日照時間（平年対比：％）及び 平均気温（平年差：℃）								
	(百粒)	平年比	(g)	平年比		28年産 1月末現在	27年産 確定		6月	7月	8月			9月		
									月間	月間	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
群馬 (前橋)	298	103	17.2	98	102	87.8	80.4	日照時間	109	104	153	83	71	147	20	56
								平均気温	0.7	0.3	1.7	0.2	▲ 0.5	2.1	0.4	2.0
愛知 (名古屋)	287	101	18.5	102	103	56.7	58.1	日照時間	103	111	146	111	96	125	23	41
								平均気温	0.2	0.6	0.9	1.0	0.4	0.9	0.9	1.7
京都 (京都)	281	101	18.6	99	101	70.2	73.3	日照時間	83	112	149	120	103	110	31	48
								平均気温	0.2	1.0	1.2	1.0	0.2	0.9	0.9	1.9
山口 (山口)	277	99	18.9	103	102	75.3	76.0	日照時間	71	115	141	147	100	64	46	51
								平均気温	0.5	0.8	1.3	1.6	▲ 0.5	0.2	0.7	2.2
香川 (高松)	293	101	17.7	101	102	9.6	17.4	日照時間	82	120	128	139	108	97	39	45
								平均気温	0.1	1.1	1.4	2.2	0.7	0.6	0.6	1.6
福岡 (福岡)	296	103	17.4	99	100	25.2	36.9	日照時間	92	133	139	165	120	66	54	70
								平均気温	0.6	1.1	1.4	2.4	0.0	▲ 0.3	0.2	1.9
長崎 (長崎)	306	110	17.0	96	104	36.0	50.4	日照時間	81	123	116	155	133	74	56	78
								平均気温	0.3	0.8	1.4	2.1	0.7	▲ 0.4	0.1	2.0

注：1 県名の下段の()書きはアメダス地点名である。

2 作況指数については、農家等が使用しているふるい目幅ベースである。

3 1等米比率は、政策統括官付穀物課「米の農産物検査結果」における水稲うるち米の結果である。

- ① 遅場地帯の地域においては、6月が日照不足傾向であったものの、8月中旬まではおおむね天候に恵まれたため、全もみ数は一部地域を除き「平年並み」ないし「多い」となった。
- ② また、その後も平均気温は平年を上回って推移し、8月下旬以降の日照不足の影響を受けた一部地域で千もみ当たり収量が「やや不良」となったものの、その他の地域では登熟はおおむね順調に推移し「平年並み」ないし「やや良」となった。

3 台風等による作柄への影響

災害名	主 　　な 都道府県	被害面積	被害量
台風第7号、第11号及び第9号	北海道	721 ha	400 t
	茨城	9,730	548
	千葉	12,800	1,130
台風第10号	岩手	267	566
台風第16号	宮崎	1,110	146
	鹿児島	9,860	462

データ：「農作物災害種類別被害統計」

注：主な都道府県は被害量が100 t 以上を記載した。

①8月中旬から下旬にかけての台風第7号、第11号及び第9号の影響により、茨城県や千葉県等の一部において倒伏等の被害が発生、②8月下旬の台風第10号の影響により、岩手県等の一部において浸水、冠水等の被害が発生、③9月中旬の台風第16号の影響により、宮崎県や鹿児島県等の一部において冠水、倒伏等の被害が発生したものの、いずれも被害程度は軽微であった。

4 病虫害の発生による作柄への影響

○病虫害発生予報第7号（平成28年9月20日発表）抜粋

- ・ イネいもち病：西日本を中心に、「多い」又は「やや多い」と予想されます。
- ・ 斑点米カメムシ類：多くの地域で「多い」又は「やや多い」と予想されており、6月中旬から9月16日現在までに13県（延べ15件）が本虫の注意報を発表しています。

いもち病及びカメムシの被害量

	28年産 作況指数	いもち病（t）				28年産 作況指数	いもち病（t）		
		28年産	（参考）				28年産	（参考）	
			27年産	26年産				27年産	26年産
鳥 取	102	571	508	1,820	高 知	100	890	2,330	917
島 根	104	702	1,050	1,370	福 岡	100	1,420	4,700	4,600
岡 山	101	1,960	2,830	3,860	佐 賀	100	1,620	3,590	8,410
広 島	102	1,260	3,110	4,090	長 崎	104	310	1,290	783
山 口	102	2,040	2,320	1,500	熊 本	102	1,630	5,350	2,730
徳 島	104	632	953	1,850	大 分	100	2,450	3,950	3,200
香 川	102	870	1,410	1,400	宮 崎	100	3,500	4,630	2,820
愛 媛	102	919	1,820	935	鹿児島	100	3,270	5,930	4,180

データ：「作物統計」

注：作況指数については、農家等が使用しているふり目幅ベースである。

	28年産 作況指数	カメムシ（t）		
		28年産	（参考）	
			27年産	26年産
青 森	104	32	33	134
岩 手	102	63	101	54
宮 城	105	459	392	360
秋 田	104	364	454	251
山 形	103	460	330	260
福 島	102	357	284	331
新 潟	108	131	160	87
富 山	106	21	249	28
石 川	104	90	90	60
福 井	104	110	457	77

- ① いもち病については、九州等の一部で発生がやや多くみられたものの、適切な防除等により被害は限定的となった。
- ② カメムシについては、一部の県で着色粒の発生に伴う品質低下がみられたものの、大きな被害の発生には至らなかった。